



ニュースレターの発刊にあたって

鵬翔流吟友会が発足して約6年の歳月が経ちました。師と弟と会員相互の深い絆で結束して、鵬翔流吟友会の歴史を作って参りました。昨秋、創立5周年記念大会を成功裏に終えることができ、これを期に、新しい企画として、鵬翔流吟友会の活動を記録に残し、また、吟詠を普及させる目的も合わせて、「鵬翔流吟友会ニュースレター」を刊行することになりました、多くの方々のご協力ご支援をお願いします。

鵬翔流吟友会広報局長 川添 壮貴



ご挨拶

鵬翔流吟友会 会長 梶 田 鵬 昇



新年明けましておめでとうございます。“冬来たりなば春遠からじ” 私の吟道人生の30年の足跡といっても大したことはありませんが、長いこと箱に入れてしまっていたトロフィと楯を今年のお正月は出して当時の自分に思いを馳せると、無我夢中でその一つ一つを勝ち取る為の稽古の日々が今は懐かしく、ふっと気がつけばいつの間にか春が訪れ、鵬翔流という小さな花が咲いていました。これからはその花を大事に大事に強くて逞しい大きな大輪の花に育てていきたいと思っています。

とても楽しみにしていた第1号、ニュースレターの発刊によせて、ご協力頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

～～鵬翔流吟友会創立以来 6年間の歩み～～

鵬翔流吟友会の発足とともに、野市教室、高須教室、東雲教室、棧橋教室、長浜教室、蒔絵台教室、宇佐教室が開設されて、さらに一つ新しい教室の発足も準備されています。多くの方々の御協力・御支援により、この6年間に入会者もふえて、鵬翔流吟友会は県内外に知られようになりました。また、鵬翔流吟友会独自の吟詠教本も作成してきました。毎年、会員の稽古の成果を発表する場として、初吟会、春季大会、秋季大会を開催しています。明德義塾中学・高等学校の生徒の吟詠大会への参加は、若い世代に吟道を継承する先駆けになると期待しています。鵬翔流吟友会の創立以来の6年間の歩みは下記の通りです。

- 平成 22 年 11 月 理念、会詩を作成
11 月 28 日 **鵬翔流吟友会発足**
創立記念祝賀会
- 平成 23 年 1 月 16 日 平成 23 年度、第 1 回役員会、総会、に於いて新役員承認される。第 1 回新春の集い
4 月 3 日 櫻花見の集い（五台山）
5 月 24 日 平成 23 年度、第 2 回役員会において平成 24 年創立一周年記念大会開催決定。
5 月 29 日 第 1 回春季大会
11 月 2 日 歌謡吟詠大会
- 平成 24 年 1 月 15 日 平成 24 年度役員会総会 第 2 回新春の集い
3 月 18 日 **創立 1 周年記念大会開催**
10 月 16 日 第 1 回「吟詠を楽しむ秋の集い」
11 月 4 日 第 1 回平家を偲ぶ一日研修「祖谷溪谷」
- 平成 25 年 1 月 5 日 指導者会発足
1 月 20 日 平成 25 年度役員会総会 第 3 回新春の集い
5 月 12 日 第 2 回春季大会「風雅を楽しむ春の集い」名称変更。
10 月 13 日 第 2 回風雅を楽しむ秋の集い
11 月 17 日 第 2 回研修会紅葉狩り「木の香温泉」
- 平成 26 年 1 月 26 日 平成 26 年度役員会総会 第 4 回新春の集い
5 月 11 日 第 3 回風雅を楽しむ春の集い
6 月 1 日 **野市教室発足五周年記念芸能大会 「弁天座」**
10 月 19 日 第 3 回風雅を楽しむ秋の集い
11 月 1 日 **教本製作完成発行**
11 月 16 日 第 3 回研修会「オーベルジュ土佐山」
- 平成 27 年 1 月 18 日 平成 27 年度役員会総会 第 5 回新春の集い

- 5月17日 第4回風雅を楽しむ春の集い
6月12日 第1回明德義塾中学校高等学校へ指導（体育館）
7月13日 第2回明德義塾中学校高等学校へ指導
（竜国際キャンパス）
9月28日 第3回明德義塾中学校高等学校へ指導（食堂）
10月24日 第4回風雅を楽しむ秋の集い
10月27日 第4回明德義塾中学校高等学校へ指導（女子寮）
11月8日 第4回研修会「オーベルジュ土佐山」
平成28年 1月17日 平成28年度役員会総会 第6回新春の集い
5月21日 第5回風雅を楽しむ春の集い
9月26日 平成28年度明德義塾中学・高等学校特訓指導。
9月26日、28日、29日、
10月3日、6日、20日、24日、26日、31日
11月1日
11月5日 鵬翔流吟友会創立五周年記念大会開催
11月27日 第4回研修会「オーベルジュ土佐山」
平成29年 1月15日 平成29年度役員総会 第7回新春の集い

鵬翔流吟友会の活動として下記のようなことも実施してきました。

コンクール出場：日総連コンクール、クラウンコンクール、日本コロムビア
吟詠高知県予選大会および全国決選大会（日本コロムビア四
国地区ブロック大会）、高知漢詩大会等に出場・参加する。

施設訪問： 白寿荘、NPO 法人：ありがとう 他。

地区文化祭出演：香美市文化協会舞台芸能発表会、夜須町文化協会舞台芸能発
表会、長浜市民学級発表会、宇佐敬老会、長浜敬老会など。

吟詠鑑賞の集い：長浜ふれあいセンター、佐古コミュニティーセンター、
芸西響屋、神田豊田集会場他。

なお 他流派との交流もさせていただき、多くの良きご縁をいただき
ました。他流派の交流によって、吟詠のレベルアップのみならず、一人
一人が人間性の向上を目指し、明るく楽しい吟友会の絆を深くしてお
ります。

鵬翔流吟友会創立五周年記念
風雅を楽しむ秋の集い

(第 66 回 高知県芸術祭協賛行事)



創立五周年記念式典

穏やかな日和の平成 28 年 11 月 5 日（土曜日）に、鵬翔流吟友会創立五周年記念大会が高知商工会館で、午後 12 時半より開催されました。

祝辞は衆議院議員中谷元、高知県知事尾崎正直、高知市長岡崎誠也、高知県議会議員（鵬翔流吟友会顧問）桑名龍吾、高知市議会議員（鵬翔流吟友会顧問）竹村邦夫、明德義塾中学・高等学校・校長吉田圭一の皆様から頂戴しました。

いつも親身になり耳を傾けて戴いて高知県漢詩連盟会長上本竹永先生はじめ、後援会長久武邦雄様、顧問の桑名龍吾先生、竹村邦夫先生方には、大会式典に御列席いただきました。一周年記念大会の折にも、わざわざ遠く愛知県からお越しいただいた白木呂静先生が、この度も華麗な舞をご披露して下さいました。徳島からは若くて凛々しい吉田泰山先生、そして地元高知からは全国でご活躍の林靈山先生、大崎麗蒼先生、そしてその社中の皆様方、日本舞踊の中岡あき先生、宮地伸竹先生の皆様もこの記念大会にご出演頂きました。そして何より明德義塾高校の生徒の皆さんが舞台に立って吟じられたことは大変うれしく思いました。卒業されてからも日本の伝統文化、精神文化としての詩吟を、後世に継承してゆく方が生まれてくれば幸甚に思います。

大会式典の後に、祝吟と祝舞が上本竹永先生と林靈山先生によって行われ、続いて鵬翔流吟友会会員、明德義塾中学・高等学校生徒により両英雄、弘道館に梅花を賞す、勧学が吟じられた。第 2 部として、会員による「心をつない

で」のテーマで歌謡吟詠が、第3部は会員・来賓吟詠「風雅をつむぐ」のテーマで吟じられた。第4部は構成吟詠「中国の詩人李白を訪ねて」のテーマで吟じられた。第5部は「歌謡吟詠と雅の舞」のテーマで会員と来賓の皆様の出演で吟と舞が披露された。第6部は構成吟詠「ああ乃木將軍」のテーマで、ナレーションと多くの映像もあり、6題が吟じられた。第7部は来賓華舞台「吟と舞」のテーマで、素晴らしい吟と舞が14題続いた。第8部は、会長吟詠：七久里紅葉狩り、舞：白木呂静先生であった。



会員による合吟



会長吟詠と
舞は林 靈山先生



吉田泰山先生と泰基君



吟詠：上本竹永先生



舞：橋口靈風先生



会員と来賓によりフィナーレ：365歩のマーチを歌う

～～～詩吟大会に明德生が参加～～～



1 2人の生徒による勸学の吟詠

鵬翔流吟友会創立5周年記念の大会「風雅を楽しむ秋の集い」が11月5日、高知商工会館を4F ホールに於いて明德の中高生12名が参加して開催され、全員で大合吟「勸学」を披露。さらに平田仁之助くん（6年B）石崎拓馬君（同）稲葉大仁（5年B）寺井景祐（5年A）の4人が「絵の島」を吟じ、熱演ぶりに参加者から盛んな拍手が送られた。

名詩・和歌・短歌・俳句を題材の詩吟は、吟じることで礼節を知り、自然の美しさを再認識できる伝統文化として希望者を募って参加者を決定。9月より公演11月まで夜間や休日に猛練習を続けてきました。

平田くんは「腹の底から吟じることで、この上ない清々しさが体験できる」と、詩吟の魅力を話していました。

(明德ニュースレター、たんぼぼ、2017.1より)

9月は夕焼けを見ながら横浪スカイラインを走り、10月には暗い坂道のヘッドライトの前をイノシシが走りました。稽古は夕食が終わった午後7時40分から9時であり、生徒さん達は、一番、リラックスしたい時でした。12人はそれぞれの寮長であり、個性の強い方ばかりでした。最初は「どうなるのか!」との思いが強かったのですが、最後に、舞台に立たせてもよいほどに上達しました。皆様、ご苦労さまでした。

～～～ 秋の鵬翔流吟友会研修会 ～～～

研修会の恒例の場所となった土佐山村の山間にある「オーベルジュ土佐山」で、平成28年11月27日（日曜日）に開催された。ぐずついた日和であったが、17名の参加者であった。オリエントホテルよりバスで向かったが、往復の木々はまだ紅葉がみられた。

午前中は、梶田先生の指導で、構成吟「李白をたずねて」の復習を兼ねて勉強を行った。ゆっくりとした入浴後に、いつものおいしい昼食をいただき散策などをした。のちに午後の部として、「吟と私」というテーマで、ひとりひとり、吟への思いを発表した。その後に、詩吟のイントロを、梶田先生が吟じて、題名を当てるクイズを和やかに行った。心豊かになり帰路に着いた。

（研修局長：杉本美翔）

～～～ 新春の集い（初吟会） ～～～

まだ正月の雰囲気の中、平成29年1月15日（日曜日）に、オリエントホテル（高知市）において、午後3時より開会された。鵬翔流吟友会理念朗読、会詩合吟、新年挨拶の後に、来賓の方々の挨拶をいただいた。続いて委嘱状授与、昇段免状授与、吟道普及功劳賞授与が行われた。第1部は教室別の合吟、江南の春、絵の島、富士山、坂本龍馬を思う、春風、松竹梅など、新春にふさわしい詩が吟じられた。第2部は、会員吟詠。第3部は、役員・指導者会吟詠。来賓吟詠は上本竹永先生よる「芳野懐古」、梶田鵬翔会長は、「元親公の初陣の銅像に題す」を吟じられた。最後に恒例の「365歩のマーチ」を全員で歌いフィナーレとなった。新春の集いに、ふさわしい会場であり、和やかな会員の交流も行われた。



来賓の方々：左より上本竹永、桑名龍吾、
竹村邦夫 久武邦雄

会員吟詠：岩田晟紫

平成 28 年度 昇段者一覧

氏名	雅号	伝	段	資格
西山博史	博紫	初	初	
岡本 豊	豊紫	初	二	
森田多喜子	蓮紫	初	二	
大野正夫	正光	中	三	
川村たか子	櫻光	中	三	
山中恵子	紅光	中	四	
笹岡正俊	蒼光	中	四	
公文包子	松貴	奥	五	
寺岡享彦	颯貴	奥	五	
中西淑子	鶯翔	皆	七	
山中清一	清翔	皆	七	準師範



国宝紅白梅図屏風

～～～施設訪問吟詠～～～

2017年1月20日にNPO法人“ありがとう”を、梶田会長、原、近江、中西、大野の5名が訪問して、デイサービスの皆様に吟詠を披露し、また、荒城の月を、全員で合唱するなど和やかな交流が行われた。



全員で、「荒城の月」を合唱



吟詠：近江誠翔

～～～ 教室・会員より一言 ～～～

副会長よりひとこと

鵬翔流吟友会副会長 飯田綜翔

鵬翔流吟友会が発足し、六年が経過しました。卓越した指導者であられる会長のもと、大勢ではありませんが、各会員それぞれが得意の分野で才能を発揮して会の為、多大な尽力を頂き発展して参りました。吟力も向上され少しずつその成果も見えて嬉しい限りです。詩吟は比較的高齢の方が多く、ご自分の人生に於いてはそれなりの成功をなした方が多いですが、様々な職種の方がいらっしゃり、新たな気付きや感動があります。これは正に趣味の世界ならではの妙味かと思います。私自身も吟友会をきっかけに宝友が出来ました。吟力を高めどこにもない絆の強い吟友会を目指したいと思います。

野市教室紹介

鵬翔流吟友会事務局長 公文龍翔

平成 21 に手結教室から香南市の中心、野市ふれあいセンターに教室を移して 6 年が過ぎました。この間、野市と夜須の両文化協会および高齢者倶楽部に所属し、数多くの舞台に立たせて頂いております。また、春と秋には老健施設慰問に他教室の仲間達と出向き吟詠を楽しんでいます。昨年より月末には夜須町公民館において自主稽古を開き友人知人を交えて吟詠の指導にあたり、地域との交流に取り組んでいます。今年は川添壮貴さんの地元、土佐山田町に教室の開設に向けての取り組みを計画し、2 月より月 1 回、野市教室を土佐山田町で行い、新たな人達との出会いを楽しみにしております。

1 月 15 日には、29 年度の総会と新春の集いも盛会のうちに終わり、今年のスタートが切られましたが、昨年を顧みると、会員の不幸や体調不良のため、吟詠活動の中断を余儀なくされた会員も数名おられました。今年こそ全会員が健康維持に留意し楽しい 1 年になるように願っております。昨年五周年大会においては、多くの方々から感動の便りが届けられました。この大会の成果は鵬翔流にとって創立以来、培ってきた努力の賜物であり、これをステップにして、さらに社会貢献できる流派をめざし、野市教室も頑張ります。

東雲教室紹介

宝蔵瑤紫

平成 23 年 (2011) 4 月、マンションの狭い 1 室で始まった教室です。1 か月に 2 回土曜日と日曜日を中心に稽古をしております。梶田鵬翔先生は、毎回、稽古をして下さり、畠中幸翔先生は、時々、出席して下さい教えをいただいております。まじめがとりえ (?) の東雲教室。今まで、稽古日に欠席した生徒はほとんどおりません。他からの教室からの飛び入りの出席の方もおり、突然の出席も歓迎しておりますので、毎回、熱心な吟の稽古が続いております。今年も、この真面目さは、そのままに、やってゆきます。お互いの上達したところをほめ合い、ひとりひとりの素晴らしいところを認め尊敬しあい、お互いに高め合っていきたいです。なりよりも、楽しく仲良く、そして真面目な教室をめざします。新しいメンバーが加わって下さればうれしいです、頑張ります。

宇佐教室紹介

大野正光

宇佐での詩吟教室の歴史は長く、鵬翔流吟友会が創立される以前より宇佐黒潮センターでスタートし、数年後中西鶯翔先生宅で行われてきました。宇佐教室は、昨年秋、ご主人が急逝され、現在は蒔絵台教室と合同で練習を行っています。中西先生はお花が大好きで稽古の時は部屋中に花を飾り、集まってこられる人達への心遣いが感じられ、ホットな雰囲気、気持ち良く、2時間があつという間に終わります。今年も梶田先生が指導されている明徳中・高等学校の詩吟稽古への協力もあるでしょう。

コロムビア高知地区予選優勝に思う

棧橋教室 公文松貴

吟界（詩吟）に入門して早くも、約15年の歳月が過ぎました。今、その当時の事を考えると長年勤務していた病院を退職し、主人の他界とともに胸にポツカリと穴があいたようで、何も手につかない日々を過ごしていた時、詩吟との出会いがありました。

幼かった頃、父が私を膝の上に抱いて良く詩吟を詠ってくれたのを懐かしく思い出し、そう、これだ、今私がやりたいのは……。そう思うとすぐに入会し、沢山の吟友の皆さんと知り合いになり、次第に私の心も充実して満たされていくのを感じました。そして昨年の夏、思いもかけぬコロムビア高知県予選に於いて、第4部で優勝させて頂きました。それは私にとって大きな励みとなり、今日まで気長く不真面目な私を叱咤激励してご指導下さいました梶田先生に心から感謝を申し上げたいと思います。

梶田先生には益々ご健勝にて、更なる鵬翔流の発展を願い、私の命が尽きるまで、心優しい吟友の皆さんとご一緒に大好きな詩吟を吟じることが出来ればと念じつつ筆を収める事に致します。

背筋を伸ばして

長浜教室 岩田晟紫

教室での詩吟の練習に入る前に、必ず先生が指導して下さるのが、背筋を伸ばして、胸いっぱい空気を吸い込んで、お腹から声を出すということです。私のサラリーマン生活は、デスクワークの時間が長く、前かがみの姿勢でした。

そして、飲み会などでの歌の場では、高音が苦手なものだから、低音歌手の歌ばかり歌っていました。退職後、知人から詩吟へのお誘いを受け、見学だけということで、教室へ入らせてもらいましたところ、想像していたより、はるかに雰囲気がよく、即座に入会させてもらい、6年目をむかえることになりました。いまは歩く時なども、常に背筋を伸ばすことを意識するようになりましたし、それよりも、たくさんの素敵な方達と親しくなれたことが良かったと思っています。ただ、私自身の詩吟力は、まだまだ未熟ですが、会員皆様の頑張りを励みに、私も努力を積み重ねてゆきたく思います。

詩吟を始めて

高須教室 山中清貴

私が詩吟を始めたきっかけは、梶田先生の吟詠を聞いた時でした。私も「自分が心を動かされたように、私も人の魂に感動を与えられるような吟詠ができれば！」との思いからです。習い始めて今年で9年目となります。この思いは今も変わりませんが、到達点は何時のことやら一。10年で何だかの形ができればと思っています。吟詠の良さは、たった20・28文字のなかに凝縮された金言、節理、喜怒哀楽などを上手・下手ではなく、個人の個性で表現する。このことが聞く人の胸を打つと私は考えています。ですから誰でも吟詠ができるのです。詩吟を始めて良かったことは、人前での度胸が少しできたこと、腹まわりが細くなったこと、演歌が歌えるようになったこと、仲間うちの集まりで、披露できる吟が、ひとつ、ふたつ出来たことなどがあげられます。初めは声も思うようにでませんでした、少しずつ目標に近づければと思います。

鵬翔流吟友会に入会して

蒔絵台教室 川谷文子

4, 50年くらい前、詩吟の稽古をしたことがあります、長い間、詩吟から離れておりました。昨年12月に近江誠翔さんのお誘いで、再び詩吟に接することになり、今では教室に行くのをとても楽しみにしております。長い時間、猫が相手の生活は、一変して、教室に来ると詩吟の稽古だけでなく、皆さんとお話をして心もなごみ、身体も元気になっていくような気がします。これからも、よろしくお願ひします。

鵬翔流吟友会 理念

千詩万詠して心身を磨き、
古今の風雅に親しみ遊びては、
花鳥風月を友とし天恵に謝す。
先人古哲の精神に学んでは
礼と節とを以って人間陶冶に努める。
自ら心魂洗い浄めて、
真善美全き世界を求むるは
是、愛と誠の鵬翔会なり。

鵬翔流吟友会 ニュースレター 1号 2017年

発行：鵬翔流吟友会 広報局 川添壮貴

発行日：2017年1月31日

連絡先：781-0270 高知市長浜 5878 鵬翔流吟友会